

文部科学省は、4月に小学6年生と中学3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」(全国学力テスト)を実施しました。

今年度は、学習状況調査と国語算数(数学)、理科の3教科の学力調査が実施され、市内小学6年生156名、中学3年生165名が参加しました。

今回、本市の結果について公表します。

※鹿児島県の結果分析については、県教育委員会ホームページ(<https://www.pref.kagoshima.jp/ba04/kyoiku-bunka/school/teichaku/h30gaiyou.html>)に掲載されています。

学習状況調査

児童生徒の学習意欲、学習方法、学習環境、生活に関する内容を、質問紙を用いて調査しました。

学力調査

次の2種類の問題が出題されました。

- ・A問題＝確実に身に付けておかなければならない学習内容を問う問題
- ・B問題＝知識・技能などを実生活のさまざまな場面に活用する力を問う問題

●学力調査の結果と考察

【小学校：本市と県・全国の平均正答率比較】

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
枕崎市	69	51	65	46	56
県	70	53	64	49	59
全国	71	55	64	52	60

【中学校：本市と県・全国の平均正答率比較】

	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
枕崎市	79	63	69	48	70
県	75	58	64	45	65
全国	76	61	66	47	66

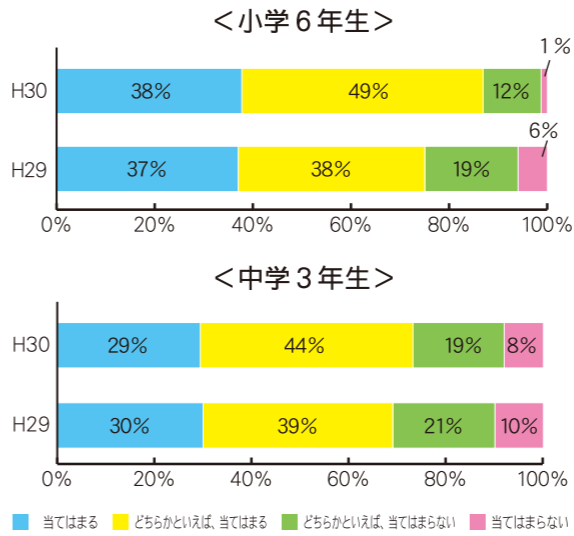
考察

4つの小学校のうち3校は、ほぼ県、全国の平均に達しましたが、1校が算数A以外は県、全国に届かず低い結果になりました。特に、算数Bに課題がありました。

中学校は、4つの学校がほぼ全ての教科において、県、全国を上回る結果でした。

●学習状況調査の結果と考察

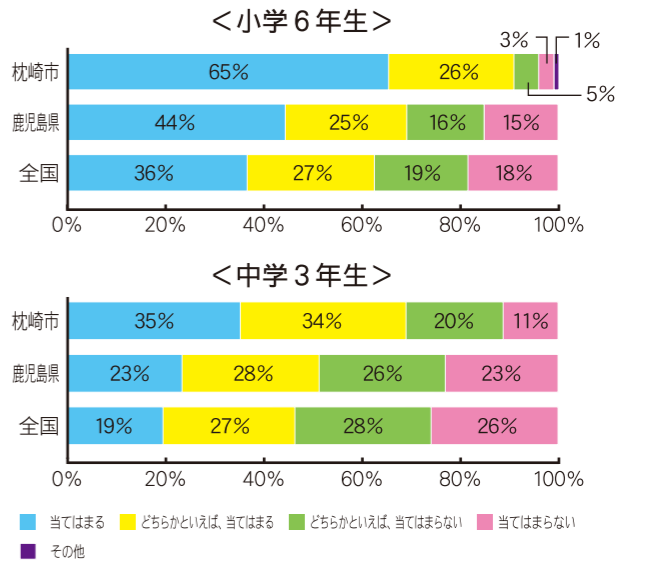
■自分には、よいところがあると思いますか。



考察

多くの児童生徒が、自分には、よいところがあると思っています。年々その割合が増えてきています。これからも全ての児童生徒たちが活躍でき、認められるような場を学校、家庭、地域において設定し、自信を深めていけるようにしていきたいと考えます。

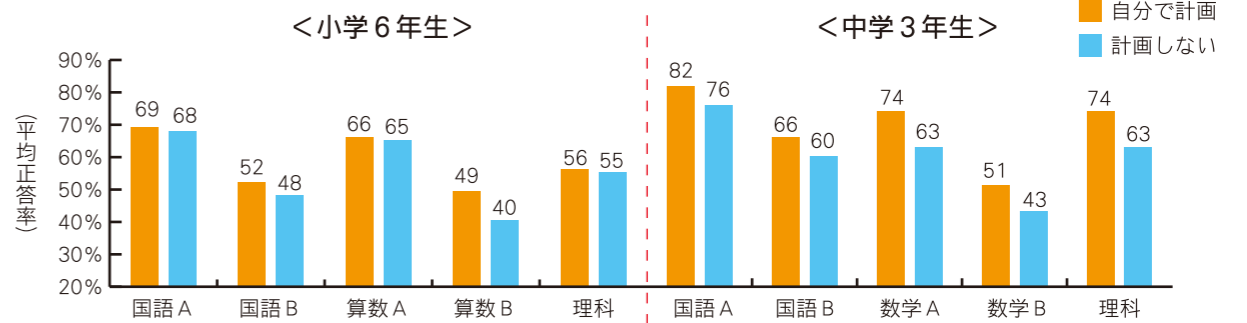
■今住んでいる地域の行事に参加していますか。



考察

本市の多くの児童生徒が、今住んでいる地域の行事に参加しています。全国、県と比較して地域行事への参加の割合が大変高いです。市の行事や校区、各集落での行事が数多く実施され、地域の方々に見守られて成長している児童生徒の様子が伺えます。

■家で、自分で計画を立てて勉強していることと学力調査結果との相関関係



考察

家で、自分で計画を立てて勉強している児童生徒はテストの正答率が高い傾向があります。やらされる勉強ではなく、自ら進んで主体的に行う勉強が学力向上につながります。授業では、児童生徒の意欲を引き出し達成感を味わわせたりする工夫が必要です。家庭学習では、学校と家庭が連携して、自ら進んで学習に向かう手立てを講じていくことが大切になります。

学校外での生活状況と学力状況の相関関係

学力検査の平均正答率が高かった学習状況調査の内容

- ・毎日同じくらいの時刻に寝ている。
- ・毎日同じくらいの時刻に起きる。
- ・毎日同じくらいの時刻に起きる。
- ・家の人(兄弟姉妹を除く)と学校の出来事について話をしている。
- ・家で、自分で計画を立てて勉強をしている。
- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。

今後の取り組み

本調査結果の分析を基に学校及び教育委員会では、家庭にも協力を呼びかけ、連携を図りながら児童生徒の学力向上に取り組んでいきます。

学校では

- ・本調査結果の課題を分析し、児童生徒一人一人に応じた指導の充実に努めます。
- ・授業では、導入の工夫や分かる・できる喜びを味わわせ、児童生徒の意欲を高め、主体的に学習に取り組めるようにします。
- ・授業では、話し合いを活用し、深まりのある学習ができるようにします。

■問合せ 学校教育課 TEL 72-0170

家庭では

- ・早寝早起きなどの基本的な生活習慣を身に付けさせるようお願いします。
- ・本市の家庭学習の目標時間小学1・2年生40分、3・4年生60分、5・6年生90分、中学生120分の確保をお願いします。
- ・自主的に勉強に取り組めるよう家庭学習の内容・やり方等について家庭と学校が連携していきます。
- ・家族の会話時間を多く設定できるように呼びかけていきます。

- ・授業の終末で学習のまとめや